

第3回行政改革推進委員会（会議メモ）

出席者

【委員】

- ・熊崎 徹三（下呂） ・松山 則樹（萩原） ・野口 博二（萩原） ・田口 洋子（下呂）
- ・中島 洋三（下呂） ・大前 保彦（萩原） ・石原 郁夫（小坂） ・河尻 和憲（金山）
- ・松嶋千恵美（下呂） ・千田 文重（金山）

欠席：今井 實郎（萩原） ・早子 雅司（小坂）

【執行部】

- ・助役：岡崎和幸

【事務局】

- ・行政改革推進室長：池戸昇 ・行政改革推進室課長補佐：今井藤夫

会議メモ

1、開会あいさつ（会長）

先の管内視察に対するお礼

今回の委員会は、各委員の皆様の現段階での行革に対する思いを語る会にしたい。

2、助役あいさつ

11/1に行革分科会の合同会議を開催し、市長にその思いを語ってもらった。これを受けて、分科会が活動を開始する。

活動の内容は随時報告していくので、今後ご審議をお願いしたい。

3、協議事項

（1）行政改革推進本部の取組み状況の報告

主な内容を時系列で報告（池戸室長）

- ・第1回委員会で提言のあった。市民の声を聞くための方法について検討結果を報告（広報誌及びホームページ上で意見をいただける方策を実施する）

本日提案の資料について概要を説明（今井）

- ・行革分科会に市長から検討を指示した事項・方向性等についての資料
- ・市職員の年齢構成表（一般事務、消防職員、保育士、医療職、技能労務職等別の資料）
- ・職員の給与に関する資料（11月広報紙に掲載した資料）
- ・16年度予算の概要（ホームページに掲載されている資料）
- ・組織等については「市民便利帳」を活用

先進事例等について報告（池戸室長）

- ・組織及び職階の改革に伴う事例
- ・窓口事務のワンストップサービスの事例
- ・PFIによる病院建設の事例
- ・公設公営から公設民営による保育園運営に移行した事例
- ・水道管理業務の民営化の事例
- ・窓口事務他、多くの業務を民営委託した事例

職員の定数について、他市との比較を聞きたい。

他市との比較表を提示。

ただし、市の行う業務の内容が異なることもあり単純数の比較資料である旨説明。

トップダウンで改革のスピードが大切である。

承知しているが、細部にわたって職員の中で検討が必要な項目も多く理解いただきたい。

トップダウンでばかりでなく、下からの積み上げが重要なことも理解できる。

分科会段階から民間の委員が参加することを検討してほしい。

過去の各審議会等においても、進むべき方向が決定された後に形式だけの審議の事例が多かった。

現段階では、本委員会の意向等、分科会に対し市長から具体的な方策を指示し、各分科会長を本会議に出席させる方向で、対応していきたい。

今後、その方が有効と判断した場合はその段階で検討していく。

アウトソーシングの具体的な内容は検討しているのか。
市内外の業者が営業活動に訪れている。具体的な方向は今後検討する。
行革のスケジュールを明確に示す必要がある。
意見のとおり。実施計画の中で具体的に提示していきたい。
市役所は有能な頭脳集団だと思う。新しい市長を迎え市民も変化を期待している。市長の意を反映させ、市民のための職員であるという職員の意識改革が何より重要。
職員提案も読んでいる。今後、そうした中から人事的な配慮も考えていく。
各委員の行革に対する考えを順次述べていただく。
各意見に対する総括的な意見交換。
職員に対する評価は町村ごとに温度差があるように思う。分科会で専門的に評価されたものを覆す判断は難しい。だからこそ職員には本気で取り組んでもらいたい。
職員の意識改革をどのように進めるのかは難しい課題。
保育園と教委との関連について予算と組織に矛盾はないのか。特に問題はない旨説明。
市長の公用車も有効活用する方向で検討されたい。
職員の中にお客様という基本的な考え方がない。対応ひとつで市民の反応も大きく変わる。
補助金について、活動費補助が半額になった事例もある。必然的に活動も減少させていかなければならない現状。
分科会の進捗と併せ、資料を提供していく。
天下りの話についても実態がわからない。全てのことについて実態がわからないので議論もできない。
市長の講話を聞いての職員の率直な感想をまとめておくことも必要と思う。
行革の明確なスケジュールを早急に作成する必要がある。
多忙な市長の日程を公表していくことも重要。(市民への理解)
職員の個々の能力を最大限に生かす管理職の能力。チームとしての業務の担当。
振興事務所の強化。予算権限の拡大等の話があるが、行革には逆行した考え方。将来的には振興事務所は縮小されることはやむを得ない。
市民に対して十分な情報提供を行うことで市民の考えも変わる。必然的に市民の代表である議会の反応も異なってくる。
分科会に対しては、委員会の意向も踏まえながら、市長が具体的な方向性を指示して検討していくこととなる。
本日各委員からの提言(文書提出)及び議論の内容等も含めた「提言書」を事務局でとりまとめていく。

次回11月29日(月)午前9:30~

具体的な協議内容については、会長と事務局で協議の上通知する。